

あこし塾長の

子親のやる気

親の気づき

○○ 37

夏は暑かったと思つて。秋は駆け足です。昨夜は授業の初めに「朝夕は火の気が欲しいね。でも昔みたいにみそ汁が凍るくらい寒い家はないしね」と話しかめたら、なぜか皆沈黙。しばらくして男子が「みそシャーベット?」とポツリと

言つて首をかしげました。「シャーベットか?」と私の方が驚いて笑つてしましました。この20年、わが国がなり変わつてしましました。塾長駆け出しのころ、男子は「先コウの決めつけにむかつくんだよ!」などと坊主頭に入れて糀がついていたり、髪の毛を校則より少し伸ばしてみたりしていました。女子は口

反抗期



反抗期

柔軟な心で異文化知ろう

す。幼児の一化でしようか。そして徐々に髪の毛で顔を覆うようになる子もいます。笑顔がぎこちなくて周りを解釈していく人は、自分とは異なる価値観に出会い、相手を理解すると、大人の表情を模倣して成長し、自分たちの人生の楽しみを経験することは難しくなります。

(畠山篤=志学塾長)

思春期は生意氣な言動が当然で、他人の干渉はとても不快なものになりました。また、たばこ、酒、異性・見つからないように隠れてたしなんでいたいわゆる「不良」が同年代からはちょっとしてきに怖がつたりもあったようでした。

しかし、この数年の思春期は、生意氣な言動が当然で、他人の干渉はとても不快なものではありません。子どもたちに反抗期がなくなってきたとしたちは、率先して柔らかい心で異文化を知ろうとする。子どもは、ぶつかり合い、感じたり、近づくのが怖がつたりもあったようでした。最近、四季を通じて相手を尊重できるようになり、自分を客観視できるようになります。子どもたちは、率先して柔らかい心で異文化を知ろうとする。夏でも厚着、冬でも薄着という「文

第2章・ゆとり教育世代の子育て

父に「父親が嫌い！」汚い！」「同じ空間にいるだけで気が狂いそう！」とまくし立てた

り、「聞いてよ、父親の洗濯物と一緒にされたのよ」と割りばしで靴下を洗濯機からつまみ出したことを話したり

と、とにかく元気がありました。また、たばこ、酒、異性・見つからないように隠れてたしなんでいたいわゆる「不良」が同年代からはちょっとしてきに怖がつたりもあったようでした。

しかし、この数年の思春期は、生意氣な言動が当然で、他人の干渉はとても不快なものではありません。子どもたちに反抗期がなくなってきたとしたちは、率先して柔らかい心で異文化を知ろうとする。子どもたちは、率先して柔らかい心で異文化を知ろうとする。夏でも厚着、冬でも薄着という「文

教 育

by yoriko

熱心に聞
受講者

られていました。しかし、1ヶ月あまりで完成了。10月13日、細長い工成。8月22日、この細い穴を掘るドリルを引き上げた。先っぽに「33人は避難所で元氣でいる」といってきました。感動の手紙がついていました。

地下に空気、家族も支えに

られていました。しかし、1ヶ月あまりで完成了。10月13日、細長い工成。8月22日、この細い穴を掘るドリルを引き上げた。先っぽに「33人は避難所で元氣でいる」といってきました。感動の手紙がついていました。

ニュース なぜなに

地下に空気、家族も支えに

られました。しかし、1ヶ月あまりで完成了。10月13日、細長い工成。8月22日、この細い穴を掘るドリルを引き上げた。先っぽに「33人は避難所で元氣でいる」といってきました。感動の手紙がついていました。

地下に空気、家族も支えに

られました。しかし、1ヶ月あまりで完成了。10月13日、細長い工成。8月22日、この細い穴を掘るドリルを引き上げた。先っぽに「33人は避難所で元氣でいる」といってきました。感動の手紙がついていました。

魚 東京海洋大の公開講座

11月20日(土) 13時~15時